

三つの花（西部小学校だより）

滑川市立西部小学校 R7.3.14

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

子供たちの姿・様子から感じたこと

降雪量が多く、長い冬であったように感じますが、一気に春が近付いてきました。校庭の桜の花芽も少しずつ大きくなり、雪の下に隠れていたオオイヌノフグリ（可愛い花なのに少しかわいそうな名前です。）の小さな花がいくつも咲いています。校長室の胡蝶蘭は2月から3つの花が咲き、その他10個の蕾も日毎にどんどん膨らんできています。



桜の花芽と葉芽



オオイヌノフグリの花



2代目胡蝶蘭の花と蕾

さて、卒業式の練習が続いています。6年生は、卒業証書を受け取るための所作の練習から、1～5年生は、心構えや待つ姿勢からの練習となりました。そして、全校で入退場と門出の言葉の練習へと続いています。私の率直な感想は、6年生も1～5年生も式参加への目的意識がしっかりしていて、とても素晴らしいと思いました。特に1～5年生は、入退場時も力を抜くことなく拍手し、門出の言葉の声は、5年生が引っ張り、体育館が震えるくらい声が出ています。6年生に「在校生の声びっくりしなかった？」と聞くと「すごかった」と答え、とても嬉しそうでした。学校全体で6年生の門出をお祝いしたいと思います。

12日は、緊張感をもちながらの卒業式予行でした。6年生一人一人の顔を見ながら、あと一週間で西部小学校を巣立つのだと思うと、一年間の成長をうれしく感じると共に、少しさびしくも思いました。練習の際に「卒業式当日は緊張して、教えていただいた所作等と違って失敗ではないから堂々としていなさい。」と伝えました。

令和7年3月18日は、これまでのことを思い浮かべ、感謝の気持ちを伝え合い、これからの希望を語り合う、きっと心に残る素敵な卒業式になると思います。

在校生に負けないくらい気持ちを込めて

卒業生が歌う『旅立ちの日に』の練習を行いました。歌の練習の前に、ピアノ伴奏の6年生が練習する姿を見ていると、その横で、老田先生と平林先生が大きな声で歌っているのです。そして、長谷川先生から声をかけられ、自信をもってピアノ伴奏を行っていました。また、担任や加藤先生と一緒に難しい2部合唱に挑戦している6年生。少し2部合唱が崩れた時、その場で萩本先生が歌唱指導され、卒業生の声と気持ちがさらに一つにまとまりました。このように、どの教職員も6年生のことを思って本当に様々なサポートをしています。校長としてとてもうれしく思い、6年生は幸せだと思いました。

残り少なくなった6年生と過ごす日々を「こんなに成長したんだ。」「あの時はこうだったなあ。」「中学校では、さらにどんな成長をするのだろうか。」「と、思いながら過ごしている私たち教職員です。

創校150周年の記念として演台と花台を寄贈いただきました。

本校の創校150周年記念として、地域の 小川 孝一 様より演台一式（演台、花台2）を寄贈していただきました。新しい演台は、3月10日に学校へ到着しました。3月12日の卒業式予行とその後の卒業記念品贈呈式から活用させていただき、もちろん、本年度の卒業式は、その新しい演台で卒業証書を子供たちに渡します。

この他、卒業生へPTAからはマグカップ、教育振興会様からはペーパー穴あけパンチ、西加積地区社会福祉協議会様からはノートをいただきました。（今年度より滑川市教育委員会からの記念品は、フォルダー型の卒業証書入れとなります。）誠にありがとうございます。

このように地域から、愛される西部小学校をさらに発展させていきたいと、職員一同、あらためて感じております。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、60年の間活用させていただきました演台一式は、創校90周年記念に 村井 一雄 様より寄贈いただいたものです。今後は、学校の多目的ホールで引き続き大切に活用させていただきたいと思います。

